

ジオ太とジオ美の旅

⑭ 男鹿温泉の鬼の隠れ道

青空が澄み渡った五月、「男鹿温泉郷の『鬼の隠れ道』に行こうよ」とジオ太くんはジオ美ちゃんに声をかけました。ジオ美ちゃんも「トラバーチン(固結した石灰質沈殿物)が見れるところね」と目が輝き出しました。

男鹿温泉郷に入ると、交流会館五風の手前に案内板がありました。その脇の小道を歩いて行くと急に両側の崖がぐっと迫ってきます。これが地質上では湯本断層の断層崖東側にある湯本トラバーチンと称される地層です。

層の厚さは平均 5メートルほど、最大で 8m前後もあります。「わあっ!まさに鬼の隠れ道だ」とジオ太くんはその迫力に興奮しています。一方、ジオ美ちゃんは「温泉郷一体は昔、草木原と呼ばれていて明治から大正時代にかけて石灰岩の採石現場だったところよ。両側の崖は当時のトロッコ道の名残りね」と冷静に観察しています。

「湧泉中に溶けていた石灰分が数千年から数万年かけて沈殿してできたんだね」「せんべいを幾重にも重ねたような平行な縞はその堆積の跡だわ」と2人はその崖をぐるっと見渡しました。

「これはまさに温泉の贈り物だね」とジオ太くん。ジオ美ちゃんは「人々がそれを上手に活用していたのね」と感激した様子。「トラバーチンといえばアメリカのイエローストーン国立公園とかは聞いたことがあったけれど私たちの身近なところにこんなすばらしい場所があるなんて、男鹿半島・大潟ジオパークってやっぱりすごいね」。2人はお互いうなづきました。その後、男鹿温泉郷の温泉に入って明日の英気を養うことにしました。



男鹿市ジオパーク学習センター

住所:秋田県男鹿市角間崎字家ノ下 452 男鹿市役所若美総合支所 2 階

電話:0185・46・4110

「ジオ太とジオ美の旅」の写真展示は、男鹿市ジオパーク学習センターでご覧いただけます。